久小だより

久田見小学校

令和２年２月１日

姿で示し、心を残す

校長　奥村雅人

現在、子どもたちは、進学・進級に向けて、引継ぎを行ったり体験をしたりしています。引継ぎにおいては、方法や内容等を教え合うことも必要ですが、これまで学校で大切にされてきた心を自分なりに受け継いでいこうという気持ちを大切にしてもらいたいです。

３学期の始業式では、６年生には「最後の学期。残りの小学校生活の中で、みなさんのすばらしい姿を示し、心を残していってほしい。」と話しました。

先日は、中学校の半日入学があり、６年生はすぐそこに迫った中学校生活への意識を高めていると思います。未来に目を向けることも大切ですが、過去を振り返り宝物を残していってくれることも願っています。久田見小学校への「愛着」と脈々と受け継がれてきた「伝統」を改めて自覚し、「これまで久田見小学校で学んでよかった」という思いを姿で示してほしいと思います。

６年生の姿を見て、５年生以下の仲間は、心を引継いでいくことになるでしょう。５年生以下の在校生は、「高原グループ」で６年生の指示のもと、一緒に遊んだり、愛校当番で朝掃除をしたりしたことを思い返し、「仲間と力を合わせてがんばる心」を引継いでもらいたいです。

来年度４９年目となるトランペット鼓隊については、それぞれの学年の子が「伝統」の重さを意識しながら取り組んでいます。現在、６年生の引退後、入れ替わりとなった２年生が猛練習中です。積極的に楽しく取り組んでいるので講師の山本先生もその上達ぶりに驚いてみえます。

卒業式では「後はまかせてください。」という気持ちで、トランペット演奏ができそうです。

※※※